

議員（隅岡 美子）

失礼致します。

それでは、一般質問をさせて頂きたいと思います。お早うございます。

11番 隅岡 美子、順次一般質問をさせて頂きます。

一問一答方式で、よろしくお願い致します。

質問は、高校生議会の開催についてであります。

令和3年11月19日、委員会室において、地方議会活性化シンポジウム2021、令和の時代を担う地方議会、調査研究・政策立案機能の充実に向けてと題して講演が、オンラインではありましたが開催されました。講演の中で、パネリストとして三重県議会議長青木謙順氏の話の中で、先進的な取組をされている中、高校生議会を開催していますとの話をさせて頂きました。私は、早速ホームページを検索したり、ユーチューブを拝見致しました。そこで、これは本当に素晴らしいと感動致しまして、多度津町にも取り入れることが出来ないかと思い、今回の一般質問をさせて頂きました。

本町におきましては、平成22年より子ども議会が開催されています。毎回テーマを決めて、多度津町の様々な課題を取り上げ、活発に取り組んでおります。令和2年度はコロナ禍のため中止、令和3年度は書面による開催となったと聞いております。また、2016年6月、公職選挙法が改正され、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。本町には、多度津高校とR I T A学園高校があります。

そこで、お伺い致します。

3点についてお伺い致します。

1点目、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられましたが、若者が選挙に対して興味を持ち、投票行動が上がり、ひいては投票率も向上していくと考えますが、町のお考えをお伺い致します。よろしくお願い致します。

町長（丸尾 幸雄）

隅岡議員の若者の投票率向上についてのご質問に答弁をさせて頂きます。

議員のおっしゃるように、多度津町の将来を担う若者が、選挙に対して興味や関心を持つことは、実際の投票行動や投票率向上に繋がり得るもので、このような世代の方々に政治参加、そしてそれを支える投票へ意識を向けて頂けるような施策の推進は重要であると認識をしております。

本町におきましては、投票率向上に向けた啓発活動として、ホームページや庁舎内に設置しておりますデジタルサイネージによる情報発信に加え、庁舎への懸垂幕設置や町内各所への啓発看板設置等、選挙ごとに実施をしております。今後も、これらの取組を継続するとともに、公明かつ適正、的確な選挙の執行に努めてまいります。

以上、答弁とさせて頂きます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁を頂きました。

町長のご答弁の中から質問をさせて頂きたいと思えます。

選挙ごとに投票率向上に向けた啓発活動として、色々あるホームページや庁舎内に設置しているデジタルサイネージによる情報とか発信、懸垂幕、また看板設置等を選挙ごとに実施をされておりますということでございましたが、これに対して何か町民の皆様からご意見とか、そういった要望とかに対して、もしあればお伺いしたいと思うんですが、いかがでしょうか。

総務課長（泉 知典）

隅岡議員の再質問に答弁させて頂きます。

今まで町の選挙管理委員会の方が啓発等を行ってきた中で、それで住民の方からこういうことをしてほしいとかなんとかというご意見は正直伺ってはおりません。ただ、先ほど申しました啓発看板、デジタルサイネージのほかに本町の取組と致しましては、県内唯一、平成28年7月10日執行の第24回参議院議員通常選挙以降、選挙期日直前の金曜日につきまして、期日前投票所において投票開始時刻を1時間30分繰り上げて、午前7時から投票出来るようにしております。これは、もちろん通学前の高校生であったり、通勤前のサラリーマン、勤務されてお仕事されてる方に、投票に係る利便性を高めるということで、これも少しではありますが、投票率向上に向けてのアピールだと考えております。

以上でございます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁有難うございました。

本当に、今、総務課長申しましたように、午前7時から通学前、通勤前に期日前投票をしているということでございまして、これはそこへ寄って期日前をして、通学、通勤をするということで、皆さんにもっとこれ、周知をされとるかとは承知をしておりますが、もっとこの辺も周知をしていって頂きたいと思えます。これは要望です。よろしくお願い致します。失礼しました。

続きまして、2つ目の質問です。

過去の国政選挙において、本町も含めまして、若者の投票率は何%かについてお伺い致します。よろしくお願い致します。

総務課長（泉 知典）

隅岡議員の過去の国政選挙における若者の投票率についてのご質問に答弁をさせて頂きます。

まず、平成28年7月10日執行の第24回参議院議員通常選挙香川県選出議員選挙における18歳の選挙人につきましては、有権者数231人に対して投票者数が106人であり、投票率は45.89%でした。19歳の選挙人につきましては、有権者数210人に対しまして投票者数が67人であり、投票率は31.90%でした。18歳及び19歳の選挙人の合計につきましては、有権者数441人に対しまして投票者数が173人であり、投票率は39.23%でした。

続きまして、平成29年10月22日執行の第48回衆議院議員総選挙小選挙区選出議員選挙における18歳の選挙人につきましては、有権者数196人に対しまして投票者数が92人であり、投票率は46.94%でした。19歳の選挙人につきましては、有権者数229人対しまして投票者数が67人であり、投票率は29.26%でした。18歳及び19歳の選挙人の合計につきましては、有権者数425人に対して投票者数が159人であり、投票率は37.41%でした。

続きまして、令和元年7月21日執行の第25回参議院議員通常選挙香川県選出議員選挙における18歳の選挙人につきましては、有権者数235人に対しまして投票者数が62人であり、投票率は26.38%でした。19歳の選挙人につきましては、有権者数229人に対しまして投票者数が37人であり、投票率は16.16%でした。18歳及び19歳の選挙人の合計につきましては、有権者数464人に対しまして投票者数が99人であり、投票率は21.34%でした。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

答弁でした。

今のご答弁の中、たくさん有権者数とか投票者数、ずっとお話をご答弁頂きました。近々の令和3年度を見てみますと、いずれも有権者数は400人台ということで、あまり変わってはおりません。投票者数も少し減少しておりますけど、何分投票率が39%、37%、21%、そして34%ということで、30%前後を行ったり来たりしているということで、非常になかなか少ないなあ。50%を割っているということで、これは本当に少ないなあと思います。大人の方におきましては、私が知つとる限りの60代、70代とかの方が、投票行動はすごく高いんでないかなと私は聞いてますけれども、若者の皆様もしっかりと投票に行く、権利として行くということをこれからは色々な、今、私が一般質問している高校生議会なんかを実施をして頂きたいし、また模擬投票をしたり、それから色々なことも新聞なんかで聞いたり、見たりしたことがあります。そういうことを、色々なことの方策を考えられて、何とかして投票率の向上に向けて切磋琢磨して頂きたいと思っております。これは、多度津町の投票行動ですかね。それでよろしいんですかね、その理解で。多度津町の投票率でいいんですかね。はい、分かりました。これも含めてしっかりとまた取り組んで頂きたいと思っております。

そして、次ですけれども。それと、私も先ほど多度津高校とR I T A学園と申し上げましたが、高校においては多度津町以外にも他町から来られとる学生がもう多く通学して

いると思いますけれども、もし分かったら多度津町内に住んで、多度津町の方は、学生は何人いらっしゃるか分かりますかね。分かりませんか。もし分かれば教えて頂きたいんですが。よろしくお願い致します。

教育課長（竹田 光芳）

隅岡議員の再質問にお答え致します。

申し訳ないんですが、データを持ち合わせておりませんので、ちょっとお答えすることが出来ません。申し訳ございません。

議員（隅岡 美子）

そしたら、また調べて頂いて、またよろしくお願い致します。

それでは、3点目の質問に入ります。

3点目です。本町におきましても高校生議会を開催してはと提案致しますが、町長及び担当課のお考えをお伺い致します。よろしくお願い致します。

教育課長（竹田 光芳）

隅岡議員の本町での高校生議会の開催についてのご質問に答弁をさせていただきます。

議員のご質問にありますとおり、子ども議会につきましては、平成22年度より学校生活で培った自分の考えを作る面白さや自分の考えや思いを表現する楽しさを設定すること。意見を交わすことで、新しい考えが作られる素晴らしさを味わえるようにする。将来を担う子供たちに多度津町の姿をよく見詰めてもらい、今後のまちづくりについて提案したり質問したりしてもらう機会を作ることを目的として実施しており、町内の各小学校の6年生2名、中学校1年生から3年生各2名と議長1名を含めた合計15名の子ども議員を任命し、子ども議員より町に対する提案、質問を行い、通常の議会で行う一般質問同様、町長ほか執行部が答弁するというスタイルで行っております。毎回テーマを設定し、本年度は「みんなが幸せに暮らせる多度津町のために出来ること、今を大切に、未来に繋げるために」とし、質問や提案を頂きました。

さて、ご質問の高校生議会についてですが、設置者が市町村である小学校、中学校と違い、町教育委員会が指導する立場にないことや本町内の高校については、他市町からの通学している学生が多いと考えられます。そのほかにも調整が必要なことが多く、開催については難しいと考えられます。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

ご答弁でございました。答弁頂きました。

結論を出すのは早いと思うんで、色々考えて頂いて、まず私が思うのは、高校生議会は広聴広報する活動の一環として、高校生の皆様に、若者に議会活動を体験してもらうことで議会に対する関心を高めてもらったり、高校生の意見を直接聞くことで議会の議論に反映をさせていけることが出来るのではないかなと思っております。

先ほど、三重県の青木議長さんが開いているということで、ここは3回開いておりまし

て、高校数が多いんで11校で40名とか、52名とか、26名議会に参加しているということで、規模は全然違いますけれども、参加した高校生の感想をそこで述べておりました。議員の方の考えなどをたくさん聞いて貴重な経験になりました。また、色々な立場の高校生と意見を共有することが出来てとてもよかったです。また、とても楽しかったです。また参加したいと思いました。県議会議員という仕事にとっても興味が湧きました。質問に対する答弁を今後の自分たちに生かしていきたい。また、議員と話をするのがとても貴重な体験となったなどなど、本当に前向きな意見を高校生が述べておまして、この中にも、これはもちろん三重県の話ですけども豊学校がございますので、そこで手話通訳を交えての高校生議会となったということで見る事が出来ました。

また、全国では、高校生議会を実施している県はまだまだ少ないとは理解をしておるんですけども、沖縄県、それから埼玉県戸田市、これは市制施行50周年記念事業として、初めて高校生議会を開催をした。それから、市議会と高校生とコラボをして開催した。愛知県安城市です。それと若者の政治に対する無関心さが顕著に表れて、投票率も低いということで、これは何とかせにゃいかんということで、福井高校生議会もしております。また、山梨県小国町では、高校生議会とそれから意見交換会を令和元年12月にされております。この中にも色々、もう既に高校生議会に取り組んでいる自治体もたくさんあるかも知れません。高校生らしい自由な発想で、一人一人違う視点に立って、町に山積している課題を一つ一つ共有して、解決に向けて頑張っていくということでございます。

また、これ町長にお伺いせにゃあいかんのですけれども、香川県議会においても、高校生5名の意見が高校生議会の決議文として、県議会議長と浜田知事に手渡されたと検索したら載っておりますが、その点、町長、何か詳しくちょっとお話をして頂きたいんですが、知ってる限りで結構ですので、よろしいでしょうか。急で申し訳ありません。

町長（丸尾 幸雄）

今、隅岡議員のおっしゃった県議会とか知事への要望ということに関しては、ちょっと私は知り得ておりませんので、そのことに対してのご答弁は出来ないんですけども、今、今回の高校生議会とか高校生18歳以上に投票権が引き下げられましたので、そういう中で高校生にまず関心を持ってもらう、政治に対して関心を持ってもらう、そして投票率を上げるということがもうメインの目的になります。今の高校生議会ということにつきましては、多度津町では多度津高等学校とR I T A学園がありますけども、そういう学校単位じゃなくて、町にお住まいしている高校生を対象にした高校生議会というのは考えられると思います。学校別になりますと高校生議会というよりも講習会とか、研修会とか、学校ごとに18歳以上の生徒の皆さんに対して政治に関心を持ってもらう。そのために、そしてその上で投票率を上げていく。そのような施策という、事業というのを学校別に考えて頂く。県立高校になりますので学校別に考えて頂くということになると思います。高校生議会を開くのであれば、多度津町がやることになると思いますの

で、それは町に在籍している高校生全ての方が対象になると思います。

以上、答弁とさせていただきます。

議員（隅岡 美子）

町長、急な質問で有難うございました。私もそのつもりではお話をしているんですが、やはり町在住の高校生でしていくのが、本来の高校生議会とっております。この高校生議会を開くことによって、近い将来議員になってみたいとか、そういった興味も湧いてくるのではないかなと私は思っております。考えてないというご答弁でございましたが、今回を契機にして、しないというんじゃなくって、課内でもちょっとそういうような話が出たら前向きに捉えて頂いて、一歩でも前進して頂くよう要望致しまして、私の一般質問を終わります。ご答弁有難うございました。